令和７年度　　指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間　　令和7年4月1日　～　令和8年3月31日

施設状況

施設名称	鶴ケ岡コミュニティセンター及び旭ふれあいセンター	所管課	協働推進課
指定管理者名	公益社団法人入間東部シルバー人材センター	施設分類	市民文化系施設（集会施設）
指定期間	令和7年4月1日　～　令和12年3月31日	利用料金制導入	一部利用料金制（利用料金及び指定管理料）
導入年月日	平成24年4月1日	指定回数	鶴ケ岡コミュニティセンター5回、旭ふれあいセンター4回
施設設置目的	鶴ケ岡コミュニティセンター：市民相互の交流を図ることにより、住みよい地域社会づくりを推進し、もって福祉の増進と文化の向上に寄与する。 旭ふれあいセンター：市民相互の交流を図り、住みよい地域社会づくりを進める。		
施設概要	鶴ケ岡コミュニティセンター【敷地面積・延床面積】700.00㎡・711.53㎡　【主な施設】研修室A、研修室B、会議室、和室 旭ふれあいセンター　【敷地面積・延床面積】847.48㎡・401.99㎡　【主な施設】研修室1、研修室2、会議室、和室		
管理運営の基本方針	市民の文化活動及びコミュニティ活動の増進を目的に、より開かれた身近な施設となるような運営を行い、集客力の向上を図る。また、利用者が世代を超えて交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。		
指定管理者の主な業務	両施設共通 (1)センターの利用の受付に関する業務　(2)センターの利用の許可及び料金の収納に関する業務　(3)センターの維持管理に関する業務 (4)センターの利用促進に関する業務　(5)前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務		

評価項目

【評価基準】　5：指定管理者のノウハウや努力等により、要求水準を大きく上回っている場合
4：要求水準を上回っている場合
3：要求水準を満たしている場合
2：要求水準を下回っている場合
1：要求水準を大きく下回る場合（改善指導が必要）

１　施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	【両館共通】施設管理責任者・受付担当者とも公共施設としての在り方を十分理解し、日常運営に当たっている。また、公益法人として健全な経営基盤のもとに運営されている。	3
区分	具体的な取組の状況・実績	
自主事業	【鶴ケ岡コミュニティセンター】 鶴ケ岡寄席(6月・10月計2回開催、延べ参加人数116人)、七夕飾り(6月29日～7月8日開催、延べ参加人数806人)、夏休み小学生自習室(7月26日～8月3日開催、延べ参加人数62人)、鶴ケ岡歌声音楽会(7月13日開催、参加人数36人)、健康寿命を延ばすためのセルフメンテナンス講座(8月24日開催、参加人数25人)、囲碁将棋の会(毎週木曜日開催、延べ参加人数334人)、Withベンチャーズショー(11月9日開催、参加人数32人)、鶴ケ岡「梅まつり」(2月開催、延べ参加人数1,800人)、鶴ケ岡音楽鑑賞会(12月14日開催、参加人数31人)、飲料自動販売機の設置 【旭ふれあいセンター】 旭ふれあい「かんたんストレッチヨガ教室」(7月開催、延べ参加人数15人)、旭ふれあいハーブ教室(6月・9月・11月計3回開催、延べ参加人数31人)、旭ふれあい作品展(10月開催、延べ参加人数204人)、旭ふれあい寄席(1月25日開催、参加人数31人)、旭ふれあい卓球広場(毎月第1・4土曜日開催、延べ参加人数369人)、飲料自動販売機の設置	
施設管理運営全般	地域コミュニティ形成の場として、地域の人や施設利用者の声を管理運営に活かすため、各種事業アンケート及び利用報告書の内容等を検証し、運営面に反映させている。 また、施設の老朽化に伴う簡易な修繕については、迅速に対応し、利用者が安心して利用できる施設運営を行っている。	
地域への貢献	小規模修繕等では市内業者を優先的に選定しており、イベント開催時には可能な限り地域住民との連携を心がけて事業展開を図っている。	

２　指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	最終利益は、前期はほぼゼロであったが当期は利益を確保しており良好。また、自己資本(正味財産)は比較的多いので、当面は安定している。	3
その他特記事項		

3　施設の有効活用

<table>
<tr><td rowspan="4">施設利用状況</td><td>利用区分等</td><td>予定（計画・目標）
単位</td><td>利用実績
単位</td><td>対前年比</td><td>年度目標達成率</td><td rowspan="4">3</td></tr>
<tr><td>鶴ケ岡コミュニティセンター</td><td>26,000 人</td><td>20,174 人</td><td>104.3%</td><td>77.6%</td></tr>
<tr><td>旭ふれあいセンター</td><td>12,000 人</td><td>14,609 人</td><td>134.0%</td><td>121.7%</td></tr>
<tr><td colspan="5">（特記事項）
・鶴ケ岡コミュニティセンター
利用人数(19,342人→20,174人)、利用件数(2,333件→2,363件)、稼働率(63.1%→63.9%)
・旭ふれあいセンター
利用人数(10,900人→14,609人)、利用件数(1,531件→1,472件)、稼働率(41.6%→39.8%)

鶴ケ岡コミュニティセンターについては、新規登録団体(個人)が122件と増加したことと、旧上福岡西公民館の休館の影響により、利用者数及び利用件数が対前年比で増加した。
旭ふれあいセンターについては、これまでの利用団体が新施設(ステラ・ウェスト)へ移行したことなどにより、利用件数が対前年比で59件減少した。利用人数については、作品展の継続実施、少年サッカー、少年野球、近隣の自治組織や商工会の健康診断・申告受付などといった大人数団体の利用により、3,709人の増加となった。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">事業実施内容</td><td>区分</td><td colspan="2">協定内容・指定管理者提案</td><td colspan="2">追加事業、未実施事業及びその理由</td></tr>
<tr><td rowspan="2">市指定事業</td><td rowspan="2">なし</td><td>追加事業</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>未実施事業</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>自主事業</td><td colspan="2">【鶴ケ岡コミュニティセンター】
・鶴ケ岡寄席
・七夕飾り
・夏休み小学生自習室
・鶴ケ岡歌声音楽会
・健康寿命を延ばすためのセルフメンテナンス講座
・Withベンチャーズショー
・鶴ケ岡音楽鑑賞会
・「梅まつり」
・囲碁将棋の集い

【旭ふれあいセンター】
・旭ふれあい作品展
・旭ふれあい音楽祭
・旭ふれあい「かんたんストレッチヨガ教室」
・旭ふれあい卓球広場
・旭ふれあいハーブ教室</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td>利用サービス向上の取組</td><td colspan="4">・自主事業を通じて地域の交流、文化及び芸術の向上を目指して計画立案を行い取り組んでいる。
・「利用者アンケート」を実施しており、利用者の声をくみ上げて施設運営を行っている。</td></tr>
</table>

4　利用者評価

<table>
<tr><td>区分</td><td colspan="2">内容</td><td>評価</td></tr>
<tr><td rowspan="3">利用者の要望把握</td><td>(1) 利用者要望把握方法</td><td>利用者アンケート、イベント実施時のアンケート、提言箱</td><td rowspan="3">3</td></tr>
<tr><td colspan="2">(2) 調査、会議等の内容

自主事業イベント時にアンケートを実施した。
アンケート実施イベント：鶴ケ岡寄席、鶴ケ岡歌声音楽会、健康寿命を延ばすためのセルフメンテナンス講座、
Withベンチャーズショー、鶴ケ岡音楽鑑賞会、旭ふれあい作品展、旭ふれあい音楽祭、
旭ふれあい「かんたんストレッチヨガ教室」、旭ふれあいハーブ教室
調査項目：性別、年齢、住まい、開催を知った媒体、感想、今後参加したい事業、自由記述</td></tr>
<tr><td colspan="2">(3) 調査、会議等の結果

回収人数：296人
年齢：10代0人、20代4人、30代5人、40代8人、50代35人、60代52人、70代以上189人
住まい：ふじみ野市249人、富士見市・三芳町・川越市21人、その他19人
開催を知った媒体：市報144人、ホームページ9人、館内広告35人、知人54人、市掲示板45人、その他22人
感想：とても良かった241人、良かった51人、まあまあ4人、あまり良くなかった0人
今後参加したい事業(複数回答)：寄席141人、音楽会153人、歌唱教室47人、囲碁将棋9人、身体運動64人、健康講座54人、その他(趣味・講談等)18人</td></tr>
<tr><td rowspan="2">利用者からの評価・要望・苦情等</td><td colspan="2">(1) 良好とする評価

(鶴ケ岡寄席)大変楽しませていただきました。次回も楽しみにしています。
(Withベンチャーズショー)シルバーサウンド、年季が入った成熟した演奏は立派です。とても楽しませていただきました。スタッフの皆さんの対応も素晴らしかったです。
(旭ふれあい音楽祭)素晴らしかった。次回を楽しみにしています。</td><td rowspan="2">3</td></tr>
<tr><td colspan="2">(2) 苦情・改善等の要望事項

・鶴ケ岡コミュニティセンターで実施している「夏休み小学生自習室」のように、夏休み期間中、中学生・高校生用自習室として会議室を開放してもらいたい。

《対応措置》

・鶴ケ岡コミュニティセンターにおいて、令和８年度からは小学生・中学生を対象に「小・中学生自習室」として、夏休み期間開放するよう進めていく。</td></tr>
</table>

５　事業収支

（単位：円）

	指定管理者収支（　令和７年度　）					市の収支				評価
		年度計画額		収支実績額			令和７年度決算		令和６年度決算（前年度）	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額	
①指定管理業務事業収支	収入	利用料金	1,545,000	利用料金	1,451,400	歳入	施設使用料	0	施設使用料	0	3
		事業収入	45,000	事業収入	41,490		行政財産使用料	7,499	行政財産使用料	7,499	
		指定管理料	24,581,000	指定管理料	24,581,000		国庫支出金	0	国庫支出金	0	
		雑入	360,000	雑入	318,558		県支出金	0	県支出金	0	
		自主事業からの充当	10,000	自主事業からの充当	0		その他	0	その他	0	
		計	26,541,000	計	26,392,448		計	7,499	計	7,499	
	支出	人件費	14,818,000	人件費	15,342,923	歳出	修繕料	0	修繕料	1,848,000	
		消耗品費	1,299,000	消耗品費	1,104,927		保険料	13,447	保険料	12,812	
		光熱費	3,026,000	光熱費	3,257,524		指定管理料	24,581,000	指定管理料	24,163,263	
		水道料金	111,000	水道料金	129,251		業務委託料	31,460	業務委託料	0	
		委託料	4,811,000	委託料	4,838,834		土地・建物賃借料	0	土地・建物賃借料	0	
		賃借料	0	賃借料	0		その他	0	その他	0	
		通信費	312,000	通信費	300,189						
		保険料	38,000	保険料	34,994						
		修繕費	500,000	修繕費	453,563						
		公租公課	701,000	公租公課	723,576						
		一般管理費（本社経費等）	883,000	一般管理費（本社経費等）	906,219						
		手数料	42,000	手数料	14,898						
		計	26,541,000	計	27,106,898		計	24,625,907	計	26,024,075	
	収支		0		△ 714,450	差引		△ 24,618,408		△ 26,016,576	
②市への納付金※納付金がある施設のみ	市への納付金	支出	0	支出	0						
③最終収支（①－②）	収支		0		△ 714,450						
●自主事業収支	自主事業収支	収入	884,500	収入	669,000						
		支出	838,860	支出	848,248						
		自主事業収支	45,640	自主事業収支	△ 179,248						

分析		
	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】	56.6%
	事業収支における経営分析	収入面では、利用団体が新施設(ステラ・ウェスト)へ移行したこともあり、利用料金が計画比93.9%となった。支出については、昨今のエネルギー価格、人件費高騰の影響により、光熱水費及び人件費が増加し、計画額を上回る結果となった。
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由	人件費等の高騰に伴い、一般管理費は計画額より増となった。

６　管理運営全般

※すべて「適」で「３」。「４」・「５」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容		適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか		適	3
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか			
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか		適	
	配置実績	施設責任者として2人隔日で出勤する体制である。受付スタッフは鶴ケ岡コミュニティセンターでは7人で3交代制をとり、旭ふれあいセンターでは5人で3交代制をとっている。清掃責任者は2施設でそれぞれ1人配置している。		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		適	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		適	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		適	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		適	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			
特記事項				

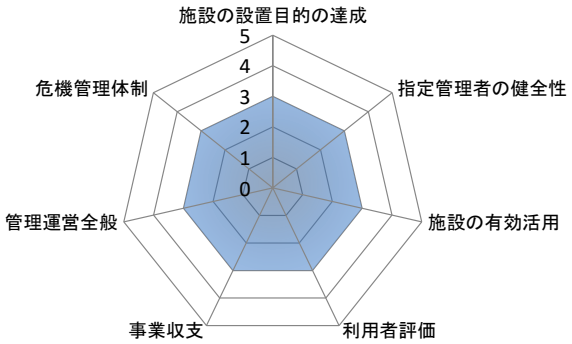
７　危機管理体制

※すべて「適」で「３」。１箇所でも「否」の場合は「１」。「４」・「５」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項			

総合評価

【総合評価】Ａ：とても優れている／Ｂ：優れている／Ｃ：適正である／Ｄ：努力が必要である／Ｅ：改善が必要である

総合評価	評価項目	評価	総合評価	市民文化系施設（集会施設）
	施設の設置目的の達成	3	C	
	指定管理者の健全性	3		
	施設の有効活用	3		
	利用者評価	3		
	事業収支	3		
	管理運営全般	3		
	危機管理体制	3		

評価理由	
	利用者の意見及び要望等に速やかに対応するとともに、職員間での情報共有を図りながら、利用者への周知、管理運営が実施されている。さらに、自主事業においては、地域の交流、文化及び芸術の向上を目指した計画立案を行い、施設の稼働率向上に向けた取り組みを行っている。引き続き、利用者が安全に利用できる施設の管理運営に取り組んでいただきたい。

取組・改善案等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	・指定管理者提案事項を計画的に遂行する。	・自主事業を当初の計画通り全て遂行した。	・施設の維持管理を適切に行い、安心安全な施設を提供できるように努める。

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

①サービス向上に向けての取組

・日々利用者への積極的な声掛けを行い、地域コミュニティの起点として親しみがあり、利用しやすい施設を目標としている。
・定期的な職員採用により、職場内の活性化を進めている。このため常時職場内研修(OJT)を実施し、接遇及び受付方法等の理解を深め、利用者サービスの向上に努めた。
・利用者の声を施設運営に反映させるため、自主事業ごとに参加者の感想・意見を集約し、窓口で実施している参加者への直接の聞き取り、提言箱の設置を継続している。
・自主事業は人気のある事業を中心に開催するとともに、新たに、教養や健康を高める事業の展開を図った。

②業務の効率化に対する取組

・寄席や音楽祭、梅まつり等イベント実施時に自前で作成していたチラシやポスターの作成を専門業者に委託することで、安価に作成枚数を増やすことができ、市内にある多数の広報用媒体へ掲示することが可能となった。

③その他

・受付や業務で発生した事例は職員間で共通理解し、同種の事例が発生しないよう対応策を協議するなど事務改善に努めた。
・業務に欠かせない施設設備のメンテナンス業務を、専門性の高い業者により的確に実施した。また、軽微な修繕箇所等を発見した際は、職員による早期修繕を実施した。
・公共施設予約システムの操作方法、問題点、課題等を職員全員で共有し、共通理解を深めた。

(2) 管理業務実施上の課題

・鶴ケ岡コミュニティセンター及び旭ふれあいセンターとも、施設設備に経年劣化による老朽箇所が散見されている。特に旭ふれあいセンターにおいては、抜本的な施設改修等の検討が必要となっている。
・両センターともエアコン設備が経年劣化により使用不能となる可能性がある。故障個所によっては、メーカーの部品保管期間が終了していることから、修理できない可能性がある。

(3) 次年度以降の取組

・今後も施設の維持管理を計画的に行い、安心安全な施設を市民に提供できるよう努めていく。
・より魅力的な自主事業の展開を進めるとともに、文化・交流施設として多くの方に来館してもらえる施設を目指していく。
・地域の交流施設の拠点として、地域の声を反映した「地域懇談会」を引き続き開催し、管理運営の充実に取り組んでいく。
・両施設とも事務一元化の観点から会館予約事務を担当するとともに、利用者の利便性向上のため、電子決済に対応する窓口利用料収納の「キャッシュレス化」を推進していく。
・情報発信の充実を図るためホームページの充実、特に自主事業等の実施予定を見やすく掲載し、多くの参加者を募ることができるよう努めていく。